

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ごみ減量運動				20年度予算コード	2	整理番号	521	枝番号		
担当部課名	環境清掃部清掃管理課		コード	300300		昨年度 整理番号	688					
係名	ごみ減量推進係		連絡先 電話番号	3734								
上位施策名		No	17		ごみの発生抑制及びリサイクルの推進							
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		13 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 1 政策番号 3 施策番号 17 事業コード 2					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民・事業者・産業団体等		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 循環型社会形成推進基本法 (3) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) ごみ減量を推進するため、「マイバック推進連絡会」や「ごみ会議」等を開催し、啓発活動を行うとともに、各種啓発紙を発行・配布する。過剰包装の抑制や環境への配慮をテーマに「すぎなみ環境賞」を実施し、区民、事業者を表彰するとともに、アイデアや活動内容を広く区民に知らせる。									
	活動指標名(式)		(1) パンフレット、チラシ及びポスター延べ作成部数 (2) 「ごみパッケン」年間発行部数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) ごみ量削減率 (2) リサイクル率							
指標	区分	単位	18年度		19年度		20年度		目標値	目標値に対する19年度の達成率%		
			実績		計画		計画		22年度			
	活動指標(1)	枚	371,600	446,700	379,400	1,210,265	1,210,265	31.3				
	活動指標(2)	枚	126,000	126,000	126,000	126,000	126,000	100.0				
成果指標(1)	%	100	90	98	96	90	108.9					
成果指標(2)	%	21	31	22	30	40	55.0					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	31,520	45,054	30,827	31,402	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0					
	(内) 委託費		千円	6,256	17,761	10,394	9,409					
	職員数(常勤 非常勤)		人	2.14 0.00	2.00 0.00	2.08 0.00	2.00 0.00	20年度計画から、計画係、リサイクル係のパンフ・チラシ等の作成枚数を追加				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	19,388	18,280	19,011	18,280					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	50,908	63,334	49,838	49,682					
	単位あたりコスト(-)÷		円	137	142	131	41					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0					0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0					0
特定財源計 +		千円	0	0	0	0						
差引: 一般財源 -		千円	50,908	63,334	49,838	49,682						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0						
19年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)				
		マイバック運動の推進						5,462				
		ごみ減量運動						3,496				
		すぎなみ環境賞の実施						3,132				
		「新しいごみの分け方・出し方」の発行						2,786				
		その他 (「杉並区の清掃事業」 「収集曜日のお知らせ」の印刷他)						15,951				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 521 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	84.9	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	68.4
		<p>過剰包装の抑制をテーマに「第4回すぎなみ環境賞」を実施した。マイバッグ持参普及のため、区内高校生を中心にマイバッグ推進連絡会6回とマイバッグキャンペーン2回、区内中学生を対象に第4回中学生ごみ会議、及びマイバッグコンテストを開催した。「新しいごみの分け方・出し方」「杉並区の清掃事業」「ごみバクン」ができることからはじめよう」等、啓発を目的とした印刷物を発行した。</p>					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		<p>平成20年4月から、ごみの出し方が大幅に変更され、資源と燃えるごみの量が増えたため、最終処分場に運ばれるごみの量は減った。一方、ごみの分類が複雑化してわかりにくくなったため、新しい収集方法について一層の周知が必要である。区民への啓発活動により、区民のリサイクル等への取組みも前進しつつある。区公式ホームページ及び区からのお知らせを活用して、「すぎなみ環境賞」の表彰候補の応募と区民投票がメール・FAXを使い可能になった。</p>					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	杉並区ごみ量(単位 トン):13年度 135,497 18年度 125,419					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	平成20年4月から始まった新しいごみの出し方について、複雑でわかりにくいという意見が多数寄せられている。すぎなみ環境賞に対する区民の認知度を高めるため、ホームページ等の活用を通して、さらに周知に努める必要がある。					
	今後の予測	環境問題の重要性は年々高まっていくため、ごみの減量への啓発を目的としたこの事業の重要性も増す。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由)	理由:ごみの発生抑制とリサイクルの推進のために、区民への啓発を目的としたごみ減量運動は有力な手段である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ) 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:区民啓発を目的としたごみ減量運動から、区民参加型のごみ減量運動へと展開していく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容:ごみの有料化。多くのごみを出す者が多くの費用を負担する制度を導入することで、区のごみは減少する。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容)	理由または具体的内容:区民参加型の事業へ移行することにより、NPO・ボランティア・市民活動団体へ事業の一部を委託できる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(へ)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(へ)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) マイバッグ製作教室をNPO法人すぎなみ環境ネットワークに委託 中学生ごみ会議はNPO団体職員にコーディネーターを依頼 マイバッグキャンペーン(年2回)、多数の高校生がボランティアとして参加している。					
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ごみ減量に関する広報活動を行い、「すぎなみ環境賞」「マイバッグ推進連絡会」「中学生ごみ会議」等を主催実施してきたが、区から区民へ一方的に働きかける傾向が強かった。今後は、区民が積極的に参加する形でのごみ減量運動を展開していく。すぎなみ環境賞においては表彰候補応募数、区民投票数の増加を図り、表彰対象として区民、区の団体・事業者を重視することで、区民の環境賞への関心を高めていく。またマイバッグ推進連絡会や中学生ごみ会議では参加校の増加を目指す。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 「すぎなみ環境賞」について、ごみ減量に貢献した事業者や区民の表彰候補の応募が少ない。環境賞への関心を呼び起こすためにも、区民・町会・商店街・区内事業者等を表彰候補として積極的に取り上げていく。表彰されることが受賞者の利益となるよう、受賞者の紹介等を積極的に行う。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 ごみの分別収集による資源の再利用や、発生抑制への取組みを区民の間で一層の浸透を図るために、広報・啓発活動の強化が必要であるため。	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		資源の回収			20年度予算コード	005	整理番号	524	枝番号			
担当部課名	環境清掃部清掃管理課		コード	300300	昨年度 整理番号	690/691/692						
係名	リサイクル推進係		連絡先 電話番号	3733								
上位施策名		No	17	ごみの発生抑制及びリサイクルの推進								
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	11 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	1	政策番号	3	施策番号	事業コード	3-1
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業	根拠法令等				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input checked="" type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 (3) 容器包装リサイクル法						
	資源の排出者					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ごみとなる資源を分別収集することによりごみの減量とリサイクルを推進する。						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	ごみ集積所に出された資源を回収し資源化施設に搬入し、選別梱包した後、再資源化施設に引き渡し、再商品化する。				活動指標名(式)						
活動指標名(式)		(1) 資源の回収量		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
						(1) リサイクル率 (2) 資源の収集コスト						
区分		単位	18年度	19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%				
			実績	計画	実績	計画	22年度					
指標	活動指標(1)		t	27,015	27,548	27,501	34,395	34,486	79.7			
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	21		22		45	48.7			
	成果指標(2)		円	40,198	44,264	42,053	63,359					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,085,945	1,223,915	1,156,480	2,179,222		特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円	967,944	1,091,449	1,027,132	1,714,280					
	職員数(常勤 非常勤)		人	22.19	21.90	25.11	27.90	0.50		平成20年度からは、プラスチック製容器包装とペットボトルの区内全域での集積所回収が開始されたため事業費が増額し、成果指標(2)も高いコストの伸びを示した。		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	201,041	200,166	229,505	255,006					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	1,385					
	総事業費 + +		千円	1,286,986	1,424,081	1,385,985	2,435,613					
	単位あたりコスト(-)÷		円	47,640	51,695	50,398	70,813					
	財源	受益者負担分		千円	159,789	136,973	243,101	178,961				
		国・都等からの支出金		千円	6,768		25,595					
特定財源計 +		千円	166,557	136,973	268,696	178,961						
差引:一般財源 -		千円	1,120,429	1,287,108	1,117,289	2,256,652						
受益者負担比率 ÷		%	12.4	9.6	17.5	7.3						
19年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)				
		ペットボトルの集積所回収モデル事業				45,000	世帯	33,147				
		古紙・びん・缶の回収業務委託				24,300	集積	566,604				
		プラスチック製容器包装回収モデル事業				3分の1	地域	114,528				
		資源化委託				5	種別	364,844				
		その他 ()						77,357				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 524 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	99.8	活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	94.5
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		ペットボトルは、モデル地域を拡大し45,000世帯となったことで計画通りの予算執行が行われた。びん・缶・古紙の資源回収については、行政回収として区内全域で委託事業として通常通り行われた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	びん・缶の回収から古紙も含めた旧東京ルール になったのが平成11年6月である。市況によっては、回収品が高額で売却できるため資源の持去り行為が起きている。旧東京ルール 実施に伴い一時期集団回収や民間回収から行政回収に移行する区民が多くなった。しかし最近では、行政が集団回収を推奨していることもあり、集団回収が増えつつある。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	資源の持去り行為に対して、区に出した資源が盗まれている。という区民の声が多く寄せられており、持去り業者に対して取締りを強化することを要望している。集積所で回収するリサイクル品目の増加を求める声もある。					
	今後の予測	集団回収の推進を積極的に進めつつ行政回収を継続して実施していく。回収品目の増加は、経費の増加を伴うことから品目ごとに費用対効果を慎重に見極め実施する必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由)	理由:資源の回収により、ごみの減量と天然資源の節減に大きく寄与している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:行政回収から集団回収や民間回収への移行を進め、さらなる拡大生産者責任の考え方を徹底して求めていく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容:国等への働きかけにより法整備を行い、デポジット制、拡大生産者責任の強化により、受益者に回収経費の一部を負担させることが可能となる。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	理由または具体的内容:拡大生産者責任の導入強化や資源としての価格の上昇、また、契約方法等の見直しにより経費の節減を図ることは可能である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 平成18年度より全ての事業を委託化している。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ペットボトルの回収量の増加を図るため、事業を検証しつつ実施計画に基づき着実に回収を進めていく。また、3Rの普及に努めごみの発生抑制を推進することにより、資源回収量の増加を図る。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ペットボトルの分別が不徹底で、可燃ごみやプラスチック製容器包装の中に混入していることから区民に対して分別の徹底を周知していく。 資源の持去り行為が横行しており、新聞等の高額古紙に限りて持去られている。これに対抗して集団回収を推奨しつつ行政回収を強化せざるを得ない。また、古紙の市況の上昇に伴い持去り業者も増加し古紙を確保するための環境が悪化し対応も難しくなっている。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 平成22年度実施予定の区内全域での戸別回収に向け21年度は、モデル地域での戸別回収を実施する予定があるため、その経費を見込む必要がある。	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		リサイクル活動の支援		20年度予算コード	007	整理番号	526	枝番号					
担当部課名	環境清掃部清掃管理課		コード	300300	昨年度 整理番号	704/705							
係名	リサイクル推進係		連絡先 電話番号	3733									
上位施策名		No	17	ごみの発生抑制及びリサイクルの推進									
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	4年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	1	政策番号	3	施策番号		事業コード	3-2
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業	根拠法令等					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	(1) (特非)すぎなみ環境ネットワーク補助金交付要綱 (2) 杉並区集団回収要綱 (3) 杉並区コンポスト容器・生ごみ処理機購入費補助要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	NPO団体に対する補助金交付と委託事業。資源の集団回収団体に対する報奨金の支払い。コンポスト容器購入者、生ごみ処理機購入者に対する補助金の交付。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民・事業者・行政の協働により、普及啓発や家具のリサイクル、集団回収への取組みを進め、ごみの発生を抑制し、リサイクルの意識を高める。							
	活動指標名(式)	(1) 集団回収団体数 (2) コンポスト・生ゴミ処理機購入費補助件数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 集団回収量 (2) 年間の生ごみ減量							
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%					
	活動指標(1)	件	276	300	313	330	410	76.3					
	活動指標(2)	件	199	285	218	240	240	90.8					
	成果指標(1)	kg	5,802,539	6,200,000	6,359,565	6,800,000	8,300,000	76.6					
	成果指標(2)	kg	140,525	165,053	147,935	167,864	183,960	80.4					
総事業費・コスト把握	事業費	千円	91,593	97,929	97,456	102,024	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)						
	(内) 投資的経費等	千円											
	(内) 委託費	千円	15,831	15,960	15,955	16,718							
	職員数 (常勤 非常勤)	人	0.60	0.50	0.50	0.50							
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	5,436	4,570	4,570						4,570	
		非常勤職員分	千円	0	0	0						0	
	総事業費 + +	千円	97,029	102,499	102,026	106,594							
	単位あたりコスト(-)÷	円	351,554	341,663	325,962	323,012							
	財源	受益者負担分	千円										
		国・都等からの支出金	千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0							
差引: 一般財源 -		千円	97,029	102,499	102,026	106,594							
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0								
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)								
	集団回収団体報奨金支払い		313	団体	38,119								
	コンポスト容器購入費助成		119	件	397								
	生ごみ処理機購入費助成		99	件	1,952								
	その他 (すぎなみ環境ネットワーク運営補助外)				56,988								

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 526 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	104.3	活動指標(2)の 19年度達成率%	76.5	19年度予算 執行率%	99.5
		集団回収は近年では最大の伸びを示し、報奨金の支払いも、予算額を超え流用をおこなった。コンポストの助成件数は、昨年を上回った。生ゴミ処理機はほぼ昨年と同件数であった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		すぎなみ環境ネットワークへの補助金は、補助金適正支給の方針に基づき厳格に処理した。集団回収報奨金は、回収量の増加を見込んで増額している。コンポスト容器は、随時受付を行い、生ゴミ処理機は年2回募集していることを広報や区ホームページに定期的に掲載した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	16年度、すぎなみ環境ネットワークへの補助金事業、委託事業の見直しを行った。集団回収報奨金は、回収量の増により、増額している。コンポスト容器補助件数は、18・19年度と増加している。生ゴミ処理機の補助は常に募集件数を上回っておりサイクルに対する区民意識が進んでいる。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	生ゴミ処理機の補助件数を増やすこと、区内の店舗での購入を義務付けている条件を削除することの要望がある。集団回収については、意見交換会の中で常に支援内容の拡大を求められている。					
	今後の予測	生ゴミ処理機については平成20年度は、年間100件から110件へと補助件数を増やした。件数を拡大することの区民要望は高いが、今後はごみ減容の効果を見極め適切に対応して行きたい。集団回収については、実施計画事業として着実に団体支援を行っていく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 集団回収については、平成19年10月に要綱改正を行い地区回収団体を新設したことで、資源の回収が地域ぐるみで進み、持ち寄り防止の効果も現れ回収量も増加した。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 新築集合住宅に対する働きかけ等、広報と勧誘活動を強化することで対象世帯数を増やすことが可能である。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: コンポストと生ゴミ処理機の購入費補助は、区の補助事業である。集団回収事業は、区が報奨金を出して住民団体に奨励している事業であり、区民が自主的に取り組んでいる事業であり受益者は区である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 事務をNPOに委託することにより、既に経費の節減に努めている。集団回収については、区が奨励していることで報奨金は回収団体並びに回収業者の必要経費の補填的な意味合いがあり削減できない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 普及啓発事業、集団回収事務などを委託しており、それぞれに経験を生かし成果をあげている。事業を充実していくためには、事業費の増額が求められているが、予算増を伴うことから事業の強化を図れないでいる。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 コンポストと生ゴミ処理機の購入費補助は、補助金適正化審査会の結論を踏まえて適正に対処する。集団回収事業については、昨年度に要綱改正を行って回収団体としての要件を緩和し集団回収に参加しやすくしたことからその結果を注視しつつ団体に対する支援を図っていく。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	集団回収の報奨金については、回収量の増加に比例した予算の増額が必要である。また、回収団体を増やすための広報予算と実務処理のための経費も必要となる。コンポストと生ゴミ処理機の購入費補助については、事業の効果と必要性を見極め適切な件数を予算計上する。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		レジ袋有料化推進			20年度予算コード	9	整理番号	528	枝番号					
担当部課名	環境清掃部清掃管理課		コード	300300		昨年度 整理番号	新規							
係名	ごみ減量推進係		連絡先 電話番号	3734										
上位施策名		No	17		ごみの発生抑制及びリサイクルの推進									
事務事業の概要	事業開始年度	○ 昭和 ● 平成		20 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 2 政策番号 4 施策番号 17 事業コード 9 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等										
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民・事業者等		(1) 杉並区レジ袋有料化等の取組の推進に関する条例 (2) 杉並区レジ袋有料化等の取組の推進に関する条例施行規則 (3) 杉並区レジ袋削減推進協議会補助金交付要綱										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	レジ袋有料化実証実験の結果を踏まえ、(仮称)レジ袋有料化推進条例検討会を設置して検討を行い、レジ袋有料化等の取組の推進に関する条例を制定した。また、協定等を締結し、レジ袋有料化実施店を支援した。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区・区民・事業者が協力連携し、レジ袋有料化等の方法により区内で使用されているレジ袋の削減を実現する。										
	活動指標名(式)	(1) レジ袋有料化実施店舗数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 条例対象事業者レジ袋削減率(前年度年間レジ袋総使用枚数 ÷ 前々年度年間レジ袋総使用枚数) (2)										
区分		単位	18年度		19年度		20年度		目標値	目標値に対する19年度の達成率%				
			実績		計画		計画		22年度					
指標	活動指標(1)		0		0		6		60	250	2.4			
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		0		0		0		40	40	0.0			
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円		6,403		5,272		3,485		8,324		特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など) 20年4月1日から条例施行 成果指標(1)の19年度実績数値は、条例施行前にレジ袋有料化を実施した店舗数	
	(内) 投資的経費等		千円		0		0		0		0			
	(内) 委託費		千円		5,201		373		247		0			
	職員数(常勤 非常勤)		人		3.00 0.00		2.00 0.00		2.08 0.00		2.00 0.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円		27,180		18,280		19,011		18,280		
		非常勤職員分		千円		0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円		33,583		23,552		22,496		26,604			
	単位あたりコスト(-) ÷		円						3,749,333		443,400			
	財源	受益者負担分		千円		0		0		0		0		
		国・都等からの支出金		千円		0		0		0		0		
特定財源計 +		千円		0		0		0		0				
差引: 一般財源 -		千円		33,583		23,552		22,496		26,604				
受益者負担比率 ÷		%		0.0		0.0		0.0		0.0				
19年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)				
		(仮称)レジ袋有料化推進条例検討会								477				
		レジ袋有料化モデル店支援								3,008				
		その他 ()								0				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 528 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%		活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	66.1
	「レジ袋削減推進に向けた取組に関する協定」を締結した事業者で条例施行前にレジ袋有料化等の取組を実行したスーパー(サミット・いなげや・オリンピック)に対して、チラシ、ポスター、マイバック等で支援を行った。 (仮称)杉並区レジ袋有料化推進条例検討会を5回開催した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	(仮称)レジ袋有料化推進条例検討会の報告を基に、パブリックコメント・区民説明会・事業者説明会を実施した。平成20年第1回区議会定例会で、「杉並区レジ袋有料化等の取組の推進に関する条例」が成立し、平成20年4月1日から施行した。					

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	14年3月「すぎなみ環境目的税条例」を制定し、同年5月に「杉並区レジ袋削減推進協議会」を設立した。マイバック持参率60%を目標にレジ袋削減に取り組んできたが、17年7月時点で35.2%であった。レジ袋有料化がレジ袋削減に有効ではないかと考え、レジ袋有料化モデル検討会を設置し、サミット成田東店でレジ袋有料化の実証実験を行った。その結果、マイバック等持参率83%を記録し、レジ袋有料化がレジ袋削減に有効であると判断し、「杉並区レジ袋有料化等の取組の推進に関する条例」を制定した。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	レジ袋有料化実証実験を行ったサミット成田東店で利用客の聞き取り調査や、19年度に実施したレジ袋有料化モデル事業実施店においてレジ袋有料化の試験的導入の際の聞き取りにおいても、レジ袋の有料化に関し賛成意見が多数を占めた。「杉並区レジ袋有料化等の取組の推進に関する条例」のパブリックコメント、区民説明会等においても、レジ袋有料化について賛成が多数意見だった。
	今後の予測	「杉並区レジ袋有料化等の取組の推進に関する条例」を円滑に実施することにより、区内のレジ袋の年間使用枚数は約5割削減される。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由)	理由: レジ袋有料化によるマイバック持参率の変化 実施前、28.0 % 実施後、83.0 % (サミット成田東店) 実施前、10.3 % 実施後、80.0 % (オリンピック高井戸店)
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 「杉並区レジ袋有料化等の取組の推進に関する条例」の円滑なる実施により、レジ袋の使用の抑制を図っていく。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: レジ袋削減で利益を受けるのは、全ての区民・事業者・次世代の人々であり、特定の個人ではないから。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: レジ袋有料等の取組を実施する事業者等に対する、区民への啓発、周知等が必要である。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	区・レジ袋削減推進協議会・事業者が協定等を締結し、レジ袋有料化モデル事業を実施し、レジ袋削減に努めた。	
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)		

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)に 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 「杉並区レジ袋有料化等の取組の推進に関する条例」の施行により、区内約300店舗にレジ袋削減への取組が課せられることとなったが、区民への働きかけも大切である。学齢期からの環境教育、広範な啓発活動を通して、区民の意識の中に環境に配慮する心を育成し、自主的にマイバックの携帯を実践する区民の増加を図る。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 「杉並区レジ袋有料化等の取組の推進に関する条例」の実効性を確保するためには、レジ袋有料化に消極的なコンビニエンスストア約200店舗での取組の実施が不可欠であり、より多くの区民のマイバック持参を実現するために携帯性に富んだコンパクトで軽量のマイバックの商品開発が必要である。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 「杉並区レジ袋有料化等の取組の推進に関する条例」に基づく、レジ袋有料化等計画書の計画期間の最終年度となるため、対象事業所295店舗でのレジ袋有料化等の取組の実施に努める。	